

令和4年度(2022年度) 建築物環境配慮制度(省エネ)届出状況のまとめ

札幌市では、環境に配慮した建築物の推進を目的に建築物環境配慮制度を条例で定めています。この資料は、令和4年度(2022年度)に届出のあった延べ面積300㎡以上2,000㎡未満の住宅・建築物の省エネによる自己評価の結果をまとめたものです。

1 令和4年度(2022年度)の届出の概要

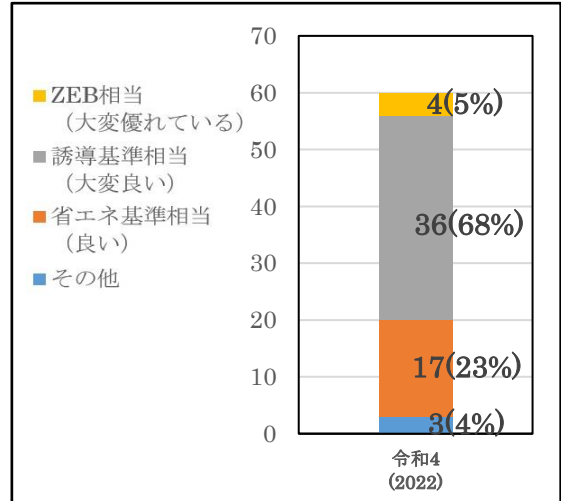
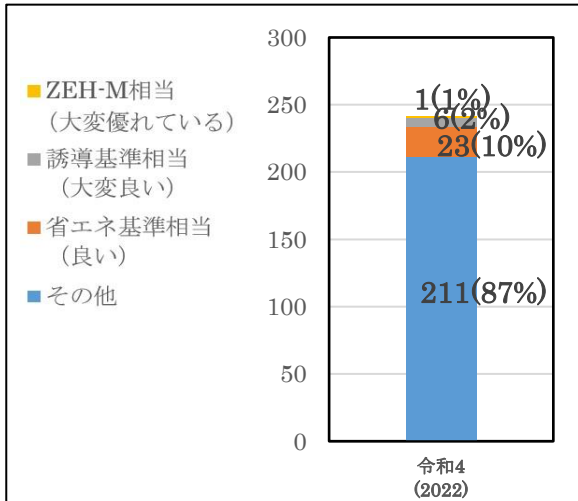
- ・ 届出数は315件あり、住宅は241件、建築物は74件となりました。
- ・ 大変優れているZEH-M相当の届出は1件、ZEB相当の届出は4件となりました。
- ・ 住宅は、省エネ基準を満たしていない「その他」のランクが最も多く211件の87%となり、建築物は、「誘導基準相当(大変良い)」のランクが最も多く36件の68%となりました。

住宅のランク別件数

年度	令和4 (2022)
ZEH-M相当:大変優れている	1(1%)
誘導基準相当:大変良い	6(2%)
省エネ基準相当:良い	23(10%)
その他	211(87%)
合計	241(100%)

建築物のランク別件数

年度	令和4 (2022)
ZEB相当:大変優れている	4(5%)
誘導基準相当:大変良い	36(68%)
省エネ基準相当:良い	17(23%)
その他	3(4%)
合計	74(100%)



2 住宅の構造別の省エネ性能のランクについて

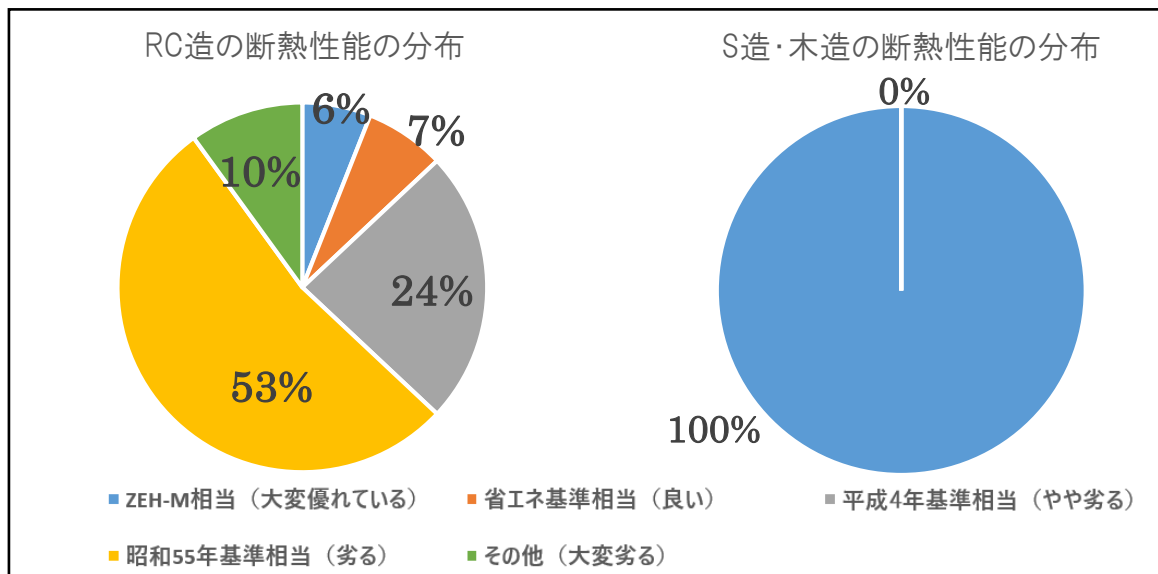
- ・ 住宅の構造別の件数は、RC造230件(96%)、S造8件(3%)、木造3件(1%)と、RC造が9割を占め、S造・木造はRC造に比べ、高い省エネ性能のランクの届出が多い傾向にありました。

構造別	RC造	S造	木造	合計
ZEH-M相当:大変優れている	0	1	0	1
誘導基準相当:大変良い	4	0	2	6
省エネ基準相当:良い	15	7	1	23
その他	211	0	0	211
合計	230(95%)	8(3%)	3(1%)	241(100%)

3 住宅の構造別の断熱性能(BEI代表住戸のUA値)のランクについて

- 住宅の構造別の断熱性能は、S造及び木造は、「ZEH-M相当(大変優れている)」のランクが100%となり、高い断熱性能の届出が多い傾向にありました。
- RC造は「平成4年基準相当(やや劣る)」のランクが55件の24%、「昭和55年基準相当(劣る)」のランクが121件の53%、「その他(大変劣る)」のランクが24件の10%となり、省エネ基準に満たない届出が多い傾向にありました。

構造別	RC造	S造	木造	合計
ZEH-M相当 : 大変優れている(UA値0.40以下)	13(6%)	8(100%)	3(100%)	17
省エネ基準相当 : 良い(UA値0.46以下)	17(7%)	0	0	10
平成4年基準相当 : やや劣る(UA値0.54以下)	55(24%)	0	0	52
昭和55年基準相当 : 劣る(UA値0.72以下)	121(53%)	0	0	138
その他 : 大変劣る(UA値0.72を超える)	24(10%)	0	0	24
合計	230(100%)	8(100%)	3(100%)	241



4 建築物の用途別件数、省エネ性能のランクについて

- 用途別件数は、病院が23件と最も多く、次いで物販店の17件、事務所が16件でした。
- 省エネ性能のランクは、事務所がZEB相当4件、誘導基準相当8件と高い省エネ性能のランクの届出が多い傾向にありました。

ランク	ZEB相当 (大変優れている)	誘導基準相当 (大変良い)	省エネ基準相当 (良い)	その他	合計
事務所	4	8	4	0	16
学校	0	5	0	1	6
物販店	0	13	3	1	17
飲食店	0	3	0	0	3
集会所	0	1	2	0	3
工場	0	3	2	1	6
病院	0	17	6	0	23
ホテル	0	0	0	0	0
合計	4	50	17	3	74